

東京蒲田医療センターでの研究に関する説明と参加へのお願い

【研究課題】

看護師の身体拘束に対する意識調査

【研究期間名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関：JCHO 東京蒲田医療センター

研究責任者：森 沙彩

【研究期間】

2025年 12月 20日 ～ 2026年 2月 20日

【対象となる方】

当院の看護師全員

【研究の意義】

認知症患者に対する身体抑制は、安全確保や事故防止を目的とし行われてきている。しかし、身体拘束は患者の尊厳を損なう可能性があり、精神的苦痛や身体機能の低下、認知症の進行やせん妄の頻発を引き起こすなど、倫理的・身体的リスクが指摘されている。看護師にとっても、倫理的なジレンマを引き起こす要因となっている。「身体拘束廃止・防止の手引き」や「認知症看護」を見直し、教育を受けることで抑制を最小化に向けた倫理的で質の高い看護提供ができる。

【研究の方法】

量的 質問紙による横断研究

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される資料や情報・データ等は、外部に漏洩することのないよう、慎重に取り扱う必要があります。収集した資料や情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを匿名化といいます）。匿名化した上で、研究責任者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコン、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。但し、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることも出来ます。この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究に参加

いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。また、匿名化を行い、解析するため、解析後の参加の取り消しはできません。研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、国内及び海外のデータベース等で公表します。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保存期間終了後には、データ消去によりデータを破棄します。なお、研究データを統計データとしてまとめたいものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。なお、あなたへの謝金はございません。この研究について、わからないこと、聞きたいこと、何か心配なことがありますたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

研究責任者：森 沙彩

〒144-0035 東京都大田区南蒲田2丁目19番2号
電話：03-3738-8221

JCHO 東京蒲田医療センター 3階東病棟